

様式第3号

東山地域学校運営支援協議会会議録

- 1 会議名 令和7年度第1回東山地域学校運営支援協議会  
2 開催日時 令和7年5月1日(木) 午前11時00分から午後0時00分まで  
3 開催場所 東山小学校あおやぎルーム  
4 出席者  
(1) 委員 鈴木正敏(副会長) 小野寺二男委員、藤原洋委員、岩越裕史委員、村上友善委員、小野寺慎也委員、和賀信継委員、鈴木典子委員、鈴木欽勝委員、伊藤悟委員、佐々木里美委員、畠山信禎委員  
欠席 高橋勝男委員(会長)

- (2) 事務局 奥山由香 岩渕尚仁  
役員の選任について、事務局案が承認された。会長には、承諾を得ている。

5 議題

- (1) 令和7年度東山小学校学校運営の基本方針について  
(2) 令和7年度東山中学校学校運営の基本方針について  
(3) 令和7年度学校支援活動について

6 公開、非公開の別 公開

7 傍聴人 0人

8 議事内容

- (1) 令和7年度の東山小学校学校運営の基本方針について  
(2) 令和7年度の東山中学校学校運営の基本方針について  
小学校長から、続いて中学校長から、令和7年度学校運営の基本方針を説明した。  
以下質疑応答。

中校長 小学校は5年生に稲作体験がある。農作業に興味をもって行うのは良いことだと思う。中学校では、小学校から引き続き、保護者や本人に対して登校や学習を促していきたいと思っている。

委員 SNS上の犯罪やオンラインカジノなど、子供たちがスマホから知らないうちに詐欺に巻き込まれていないか。一関警察署などに依頼して、学習の機会を設けたらどうか。

中校長 県警に学校サポーターとして情報提供をしてもらっている。保護者へも周知と注意喚起をしていきたい。

委員 薬物乱用については、岩手県の子供たちは少ないようだ。教育が行き届いているからではないか。

委員 スクールバスで登校する子供が多い。歩いている子供は1区だけか。育成会ではどうなっているのか。4km以上がスクールバスと聞いたがどうか。

事務局 スクールバスの利用についての距離規定は、3km以上となっている。ただ、特例として3km以内でも、バス停があれば認められている地域はある。3km以上あっても、バス停がないと利用できないようになっている。その地区は、保護者がタクシーを頼んで共同利用している。

委員 野平地区は3.1kmでバスに乗れないので自転車通学をしている。工場前はダンプカーの通り、危ないので歩道を通らせている。自転車通学の安全を確保したいと思う。

中校長 中学校では、自転車通学の距離制限を撤廃しているが、自転車を利用する生

徒は少ない。

委員 自転車のルールが厳しく、保護者が迎えに来ていることが多い。商工会議所に自転車を停めて、迎えのために電話を貸してほしいと言われることがある。ケータイは持たせられませんからね。

委員 中学校が修学旅行を4月にしたのは、熱中症対策の意味でも良いと思う。学校では、水分の補給の指示や教室の温度管理などしてほしい。雷の時の避難指示などもしてほしい。

事務局 学校では、子供たちへの水分補給や教室の温度管理などを行っている。熱中症指数を測定して、危険な時は休ませたり活動を中止したりしている。夏休みは、部活動やプール開放の時間を早めて、熱中症対策をしている。

委員 子供たちだけでなく家庭を含めての支援はどのようにしているのか。

中校長 家庭も問題については、民生委員さんも入りにくい。市の子ども家庭課と連携して、保護者への支援を行っている。また、スクールカウンセラーさんは、生徒だけでなく保護者のカウンセリングも行っている。中学校は、生徒だけでなく保護者の予約でもいっぱい状況。

委員 親も悩んでいる。親へのカウンセリングがあるのは良いと思う。

質疑応答を経て、小中共に、令和7年度学校経営の基本方針が承認された。

(3) 令和7年度学校支援活動について

昨年度の活動を踏まえて、今年度の学校支援活動について意見を交換した。

委員 昨年度のボランティアの実績を今年度も継続していきたい。他にもできることがあれば、取り上げていきたい。学校支援会報を各地区の方々にも配布して、学校支援活動について知ってもらい、ボランティアに参加してもらおう方が増えてくれるようにしたいと思っている。

委員 会報は全戸配布か。多くの人に知ってもらえるといい。

委員 回覧する地域と全戸配布の地域がある。会報は色付きの紙に印刷して、見て覚えてもらえるように工夫したい。

事務局 学校では、ミシンサポートやプールの見守りなどボランティアの方々に支援していただき大変助かっている。学習や活動の支援してもらえるだけでなく、地域の方々とのふれあいにもなっている。子供たちの成長にもよい影響を与えている。

事務局 昨年度は小学校創立10周年、中学校30周年ということもあり、運動会や学習発表会・文化祭などに地域と密着したものを取り入れた。校歌の合唱や「生きた日々」の復活など、児童生徒や保護者・地域の方と一体となって活動ができたことは大きな成果だった。

委員 昨年度の学校運営支援協議会で話題になったことが、学校運営や学校支援に生かされてきた。今年度も、2回目3回目と、これから皆さんと意見を交換しながら、よりよい支援の形作りを進めていく。

今年度の学校支援活動についての方向性を確認した。